

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	コンビニ（店長）	販売量の動き	・スーパー等とは違ったコンビニらしい品ぞろえを強化したことで、雑貨や菓子、加工食品が伸びてきている。
	やや良くなっている	商店街（代表者）	競争相手の様子	・近隣または競合する大型ショッピングセンターが増床を続けている。また、ショッピングセンターに隣接する土地にも大型専門店の出店が予定されている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・クーポン券等の対策効果が出てきたのか、前年割れは続いているものの、今月は前年比100%近くになってきている。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数が前年に比べ5～10%伸びている。地上デジタル放送対応薄型テレビなどの単価の高い商品の動きも年末に向け加速している。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・季節的なものもあるだろうが、通行人が増え、フリーの来客数も伸びてきている。宴会の予約も順調で、大分上向いてきたようである。
		タクシー運転手	来客数の動き	・10月の初旬から秋の行楽シーズンが始まり、観光客が非常に増えてきている。観光バスから降りてきた客がタクシーを利用するようになってきたので、先月よりは上向いている。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・客が以前に増してデジタル関連機器に前向きになってきている。また、当社のデジタルサービスへの加入が増えており、地上デジタルに対する認知度も上がってきている。
		ゴルフ場（副支配人）	来客数の動き	・客はインターネット取り込み等に今まで以上に敏感に反応している。
		その他レジャー施設 [アミューズメント]（職員）	お客様の様子	・客の希望する対象が物から感覚へ変わりつつある。リラクゼーションや安らぎ、エンターテインメントなどへの消費が広がってきている。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・利回りの良さそうな投資物件には引き合いがかなり増えてきている。一般的な値段だとなかなか引き合いは薄い。多少でもお金が緩やかになって不動産に目が向いてきているようである。	
	変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・秋の観光シーズンであるが、紅葉の遅れや週末の悪天候で期待したほど人出がない。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・単価の安い物は売れないが、ランドセルのような絶対に必要な高い物の受注は前年より多くなっている。
		一般小売店 [精肉]（経営者）	お客様の様子	・急激に秋に向かっていくが、客は高齢者が多いので、少しの雨、風、冷え具合で人の動きが悪くなっている。品物の相場が下がってきており、全体的に購買力も少ない。
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・台風の相次ぐ上陸や新潟地震などで売上に影響を受けた昨年と比べると、今年は順調に売れている。
		スーパー（統括）	単価の動き	・一時下げ止まったかにみえた単価が、ここへきてまた下落傾向である。特に農産、畜産、水産の一部などの生鮮食品で相場安から1点単価が下がっている。この傾向は、若い世帯でより顕著であり、健康志向で動きをみせる団塊世代とは一線を画している。また、ナショナルブランドの加工食品の低価格化が進み、価格競争が激化している。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・来客数は変わらないが、衝動買いが少ないために単価が下がっている。
衣料品専門店（店長）		販売量の動き	・買上客数が約13%伸びたが、客単価が総じて低く、売上は前年比であまり変わっていない。	
衣料品専門店（統括）		来客数の動き	・10月は地元の祭りがあったが、前年台風で中止になったこともあり、手持ちの物で祭りに参加する人が多かったようである。当店は祭り用品を扱っているが、最近では若い人たちがなるべく安い物を探すので、祭り用品も段々単価が安くなってきている。	
乗用車販売店（経営者）	単価の動き	・販売量、契約台数はそこそこあるものの、客がかなり厳しい金額を提示してくるため、なかなか利益を上げることができない。		

	乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・景気は2～3か月前と変わっていない。宣伝をすれば、高価な車は売れないが安い車はとにかく売れる。ここ2～3か月は宣伝をすると売れる、売れるから宣伝をするということの繰り返しである。
	高級レストラン (店長)	販売量の動き	・中旬以降は極端にランチタイムが落ち込んだが、ディナーの動きが多少あったため、ランチの低下分をカバーできている。
	都市型ホテル (経営者)	お客様の様子	・会社から宿泊せず帰るように指示がある様子で、客が終電などで戻ってしまう傾向は相変わらずである。予約時は3泊でも、早く仕事を切り上げて宿泊数を短縮して帰るといったケースも相変わらず多い。地方都市の景気は長い間、踊り場で立ち往生している。
	都市型ホテル (スタッフ)	単価の動き	・宴会料理の単価を、以前利用したときより下げている客が多い。
	旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・客は良いものを望んでいるが、料金は抑えたいという意向が強いため、なかなか一致しない部分が多い。
	旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・秋の旅行シーズンに入っているが、団体客の売上は例年に比べ良くない。ただし、家族旅行等の小グループの予約は順調に入っている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・今月はいろいろなイベントで人出はかなりあったが、ほとんどの人が自家用車で来ており、タクシーの利用は少ない。また、深夜の利用客も依然として少ない。
	観光名所(職員)	お客様の様子	・例年に比べて紅葉が遅れていることから、客の入込が長期間にわたっており、入込客数は例年より多い。しかし、レストラン、ホテル関係は人気の高い一部の店を除いては例年並みである。
	競輪場(職員)	お客様の様子	・来場者数、購買単価とも変化がみられない。
	設計事務所(所長)	来客数の動き	・2～3か月前と比べて客数は変わらないが、小さい物件が多く、単価は安い。
	設計事務所(所長)	それ以外	・当事務所の仕事は比較的順調に進んでいるが、同業他社では仕事があるところとないところのはっきり分かれている。全体としては変わらない。
やや悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・毎週末悪天候のために行楽に出かける機会が少ないため、客は地元郊外にある大型店に行っている。週中は商店街にも買物する主婦の姿が多少みられるが、前年同時期と比べるとめっきり少なくなっている。
	スーパー(販売促進担当)	来客数の動き	・単価は夏から秋にかけて上がっているが、来客数は3か月前に比べ98%と減少している。
	コンビニ(経営者)	お客様の様子	・休日などの買上点数が非常に少なくなっている。
	住関連専門店(店長)	単価の動き	・来客数の大きな変化はないが、販売数量や客単価は低下傾向にある。
	一般レストラン(経営者)	来客数の動き	・来客数が少なくなっており、夜の客数も減少しつつある。
	都市型ホテル(スタッフ)	販売量の動き	・市長選や農繁期でいろいろな行事があったことから、客の動きが停滞し、来客数が減少している。
	その他サービス[自動車整備業](経営者)	お客様の様子	・得意先やその関連会社の業績が悪く、客が減っている。
	その他サービス[自動車整備業](経営者)	来客数の動き	・前年並みであった在庫量がここにきて若干落ちてきている。特に2～3%であった乗用車の車検入庫の落ち込みが5%台になっている。
	設計事務所(所長)	競争相手の様子	・今、手掛けている仕事が終わってからの仕事の予定がない、という同業者が多い。建設業者も同様である。公共事業の発注数も極めて少なくなっており、状況は悪くなっている。
悪くなっている	一般小売店[衣料](経営者)	来客数の動き	・8月ごろまでは前年比横ばいくらいであったが、ここにきてかなり悪くなっている。天候不振、紅葉の遅れなど、いろいろなことがあるが、周りの状況は良くない。
	スーパー(経営者)	それ以外	・今月近隣に競合店の出店があり、売上、来客数とも大幅に減少している。競合激化のため、客単価も6%下がっている。

		都市型ホテル (スタッフ)	競争相手の様子	・地元の老舗ホテルが廃業に追い込まれてしまった。古くなってきても自己資金がなく、銀行も融資してくれず、いろいろな悪循環で従業員も減ってしまうということが市内でも続いている。明日は我が身ではないが、社員全員で一生懸命やっても不安が残る状況である。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業 (営業統括)	競争相手の様子	・大手から中小メーカーに至るまで、例年になく各社独自の新種ワインの祭り等を企画し、来客数増、売上増を図っている。
		化学工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・来春までの期間限定の受注ではあるが、沢山の仕事が入り、残業時間も増えてきている。
		金属製品製造業 (経営者)	取引先の様子	・親会社は工作機械及び産業機械、工場用コンプレッサのメーカーであるが、最近自動車産業向けの工作機械の生産が追いつかない状況で、今まで年間5~6台の受注であったジグボーラーやネジ研盤といった高額な工作機械が、現在は月2~3台のペースで出ている。また、期末後の10月になっても親会社は特装車両関係の生産を落とさず、当社も順調に推移しており、当社の今期の売上は前年比40%増となっている。
		金融業(経営企画担当)	取引先の様子	・プラスチック加工、特殊な半導体製造関係など、一部製造業で受注の増加に伴う設備投資が活発になっており、融資案件も出ている。
		新聞販売店[広告](総務担当)	取引先の様子	・今月のチラシ出稿量は前年比103%と3か月連続で前年を上回っている。特に好調だと思われる業種は見当たらないが、新規オープンする店が相乗効果を生み出しているようである。閉店を発表した大型店もあるが、全体的に安定感がうかがえる。
その他サービス業[情報サービス](経営者)	受注量や販売量の動き	・徐々にではあるが、受注量、販売量共に、着実に増加している。		
変わらない	一般機械器具製造業(生産管理担当)	受注量や販売量の動き	・比較的好調であった前年同月並みの仕事量を確保できている。	
	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・全体的に受注量が出て動き出しているが、コストは依然厳しい状況が続いている。	
	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・取引先の一つで新製品の生産が始まり、受注も増えてきたが、他の取引先は相変わらず在庫調整で受注ゼロである。	
	建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・官民とも依然として受注量が増えない。	
	経営コンサルタント	それ以外	・経営革新など新たな取組にチャレンジしている会社で将来の芽がみえつつあるところがある一方、過去4、5年守りに徹し、事業内容や業態改革を怠ってきた会社で業績、経営面に行き詰まったところもある。景気全般は変わらずとも、かなりの構造変化をみせつつある。	
	その他サービス業[放送](営業担当)	受注量や販売量の動き	・サービス業、流通業、不動産業等からのスポットコマースの件数は増加しているが、期間が短く小口化している。中長期のタイムコマースが減少傾向にあり、依然厳しい状況にある。	
やや悪くなっている	食料品製造業(製造担当)	それ以外	・ここにきて、更に包装資材価格が上がり、年末には他メーカーも単価を上げることである。自社製品価格に上乗せできれば問題ないが、なかなかできないのが現状である。	
	輸送用機械器具製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・受注は前年比で10%減少しており、10月からは5%、年間で10%のコストダウンを求められている。燃料代の上昇によるコスト高で、収益が悪化しており、非常に厳しい状況である。	
	輸送業(営業担当)	それ以外	・輸送依頼量は増えているが、燃料高のあおりを受け不採算の状況で、協力会社の車両減少などによる車両不足もあり厳しい状況である。	
	広告代理店(営業担当)	受注量や販売量の動き	・年末商戦へ向けての宣伝広告が、前年に比べ2割は減少している。受注単価の下落は一応落ち着きをみせているが、そもそも引き合い自体が減っている。	

	悪く なっている	不動産業（経営者）	それ以外	・委託物件が減少し、請負の際に、有無を言わずに厳しい条件等を飲まされる傾向が強まっている。
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	人材派遣会社 （経営者）	求人数の動き	・電機電子、住宅関連の原材料等の製造加工、自動車関連などの製造関係の求人は増えているが、求職者数はほとんど動いていない。生産が落ち着いており、従事者の動きもなく、比較的安定して伸びてきているということである。
		求人情報誌製作 会社（経営者）	求人数の動き	・サービス業、製造業の正社員募集が今までより多少増えている。派遣社員、業務請負の募集広告も依然として増加傾向にある。
		学校〔短期大 学〕（就職担 当）	求人数の動き	・夏以降、学校へ直接来る求人が途絶えていたが、最近少しずつ問い合わせが増えてきている。職種も事務、営業、製造とバラエティーに富んでいる。
	変わらない	求人情報誌製作 会社（経営者）	求人数の動き	・アウトレットが店舗を大幅に増やすのに伴い、12月から1月にかけて約400名の募集を当社が請負うことになっている。アウトレットを中心にその他の雇用が発生してくることを期待している。
		職業安定所（職 員）	周辺企業の様子	・求人数が伸び悩んでいる。特に、製造業からの求人は減少が続いている。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・新規求人は、5,000をわずかに上回ったが、前年比23.1%減と減少傾向に大きな変化はみられない。産業別では製造業が前年比51.9%減と、特に厳しい状況が続いている。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・求人数は横ばいの状況で推移している。求職者も、希望する条件の仕事に就けないことから、条件を大きく変更し、とりあえず就職に至る事例もあるが、その場合、職務内容や条件等に不満を持ち、在職中に再度求職の申込をするケースも多い。
		学校〔大学〕 （総務担当）	採用者数の動き	・今月は6名の内定もあり、当校の就職内定率は80%台と前年並みになっている。
	やや悪く なっている	人材派遣会社 （社員）	周辺企業の様子	・周辺企業の話では、先々も不安材料ばかりであり希望を持てるようなことがなく、現在も値引き依頼が続いているとのことである。
悪く なっている	-	-	-	